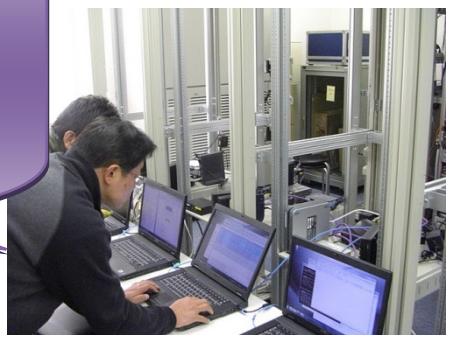
総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

ipv6
IPv6 Promotion Council

IPv6 の対応、終わっていますか？



無償で利用できる IPv6 検証環境オープン！

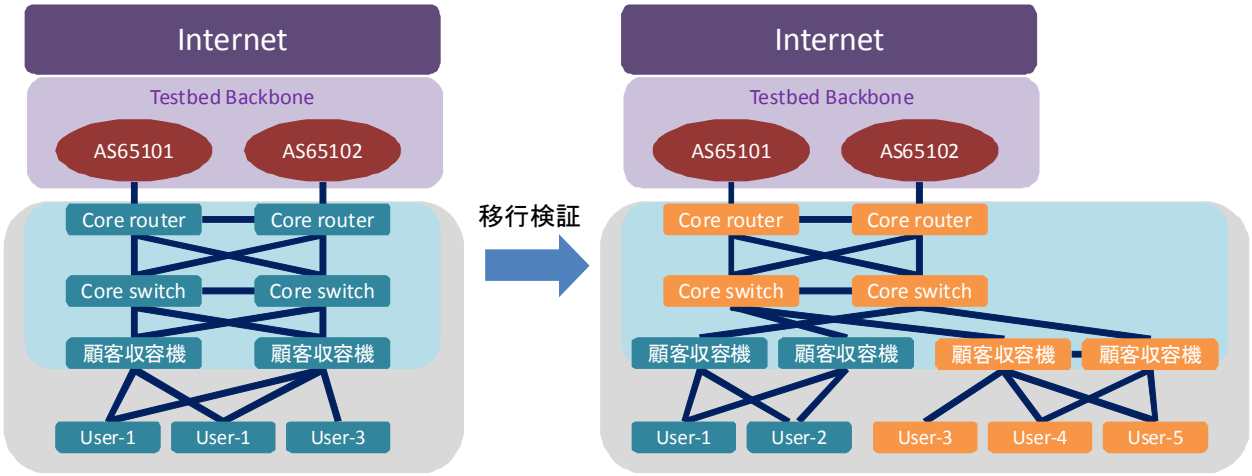
IPv4 アドレスの枯渇が直前に迫った現在、インターネットがこれまで通りの拡大と発展を遂げていく為には、アドレス枯渇への対応が急務となっています。この枯渇問題への対策として、アドレス空間を大幅に拡張した IPv6 の導入を中心とした複数の案が検討され、その案にそった対応が進んでいます。企業にとって IPv4 アドレスの枯渇問題に対応しないことは、すなわちビジネスチャンスの逸失、既存顧客の流出などの事態を招く可能性があることを意味します。逆に、IPv6 にいち早く適応することは、新規サービスの創出、ビジネス規模の拡大などのチャンスを得ることになります。

IPv6 普及・高度化推進協議会では、これからこの問題に対処しなければならない状況にある企業、団体の皆様に、新しい技術を導入するための試験を行うテストベッド(検証環境)を無償で提供いたします。この検証環境を利用して、IPv6 対応を中心とした、IPv4 枯渇に向けて導入が必要とされている技術について検証していただけます。テストベッドは、慶應義塾大学新川崎タウンキャンパス及び株式会社ブロードバンドタワー西梅田データセンターにて利用可能です。また、将来的には遠隔接続を利用した検証も受け入れ予定です。なお、テストベッドは、当協議会会員に限らず、どなたでもご利用いただけます。

※本件は、平成 22 年度総務省施策「IPv6 対応に向けたテストベッドによる実証実験に係る請負」の一環として実施しております。

- IPv4/IPv6 Dual Stack 検証
- Large Scale NAT 検証
- サーバ冗長構成 IPv6 化検証
- ユーザ環境 IPv6 化検証

IPv6 検証環境利用例



テストベッドで既存の疑似環境を構築

Dual stack化の構成や手順を確認

凡例
IPv4/IPv6 dual stack node
IPv4 single stack node

※この例では一部ネットワークへのDual Stackノードの導入を想定していますが、
テストベッドでは、IPv6のみの環境や、一部のノードのみDual Stackの環境、全てのノードがDual Stackの環境、Large Scale NATを利用した環境等、様々な検証環境の構築が可能です。

本検証環境では、

- IPv4 で構築されたネットワークを IPv4/IPv6 Dual Stack へ移行する際の構成確認や手順検証を通した移行手法の確認
- ユーザ収容部分やサーバーファーム等で利用されている冗長化プロトコルの Dual Stack 化の実装確認や移行手順の確認
- 各種ネットワークのインターネット接続部分の Dual Stack 化の試験

等、様々な試験・検証を行うことができます。また、テストベッド機材を提供いただいている各メーカーのエンジニアや IPv6 普及・高度化推進協議会において IPv6 技術について卓越した技術を持つ専門チームが、検証システム設計、コンサルティングおよび検証作業補助などで協力させていただきます。

本検証環境では、これまで家電の IPv6 化、セキュリティデバイスの IPv6 化、自社ネットワークの IPv4/IPv6 デュアルスタック化、アプリケーションの IPv6 化等の検証が実施されています。本格的な IPv4 アドレスの枯渇を前に、是非 IPv6 検証環境を利用した事前検証を行うことをお薦めします。

なお、詳細に関しましては http://www.v6pc.jp/jp/entry/wg/2010/05/v4exh-testbed.phtml をご参照いただければ幸いです。

本件に関するお問い合わせ先

IPv6 普及・高度化推進協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-18-14 赤坂 ST ビル 2 階　株式会社イーサイド内

TEL：03-3585-8161　　FAX：03-3585-8162　　E-mail：v6info@v6pc.jp

URL：http://www.v6pc.jp/